経営比較分析表（令和4年度決算）

徳島県　中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	学術・研究機関出身
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※1**	**指定病院の状況　※2**
直営	26	対象	透Ｉ未 訓 ガ	救 臨 が 感 へ 災 地
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
718,879	41,591	非該当	非該当	7 ： 1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
390	－	5
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
60	5	460
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
331	－	331

※1　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

※2　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例

■　当該病院値（当該値）

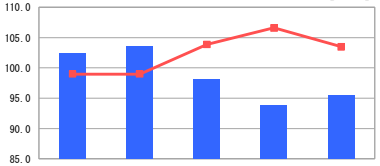
ー　類似病院平均値（平均値）

【】　令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

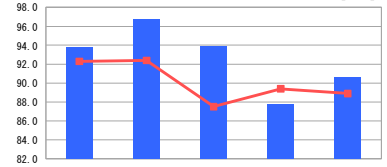
【103.5】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	102.5	103.6	98.2	93.9	95.5
平均値	99.0	99.0	103.9	106.6	103.5

②医業収支比率(%)

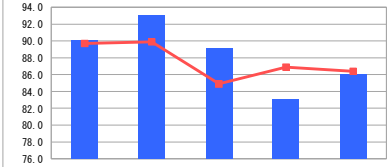
【86.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	93.8	96.8	93.9	87.8	90.6
平均値	92.3	92.4	87.5	89.4	88.9

③修正医業収支比率(%)

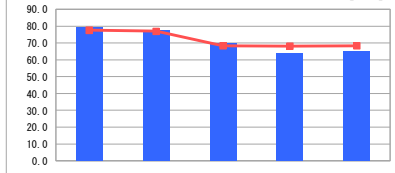
【83.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	90.1	93.1	89.1	83.1	86.1
平均値	89.7	89.9	84.9	86.9	86.4

④病床利用率(%)

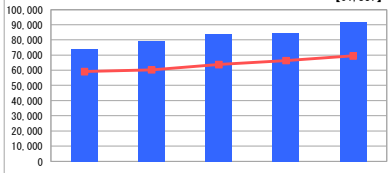
【66.8】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	79.4	77.4	70.0	64.0	65.0
平均値	77.6	77.0	68.4	68.2	68.4

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

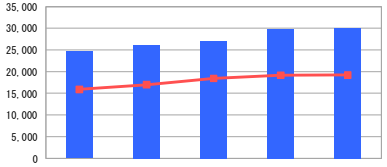
【61,837】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	74,190	79,431	83,735	84,216	91,604
平均値	59,108	60,271	63,766	66,386	69,418

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

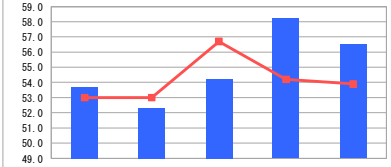
【17,600】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	24,623	26,161	27,159	29,844	29,986
平均値	15,887	16,979	18,423	19,190	19,216

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

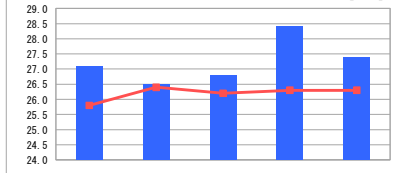
【55.6】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	53.7	52.3	54.2	58.2	56.5
平均値	53.0	53.0	56.7	54.2	53.9

⑧材料費対医業収益比率(%)

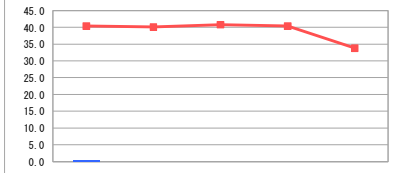
【25.1】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	27.1	26.5	26.8	28.4	27.4
平均値	25.8	26.4	26.2	26.3	26.3

⑨累積欠損金比率(%)

【63.0】

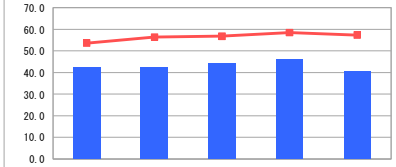


	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	40.4	40.1	40.8	40.4	33.8

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

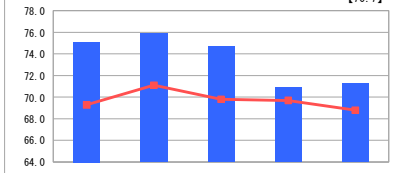
【56.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	42.5	42.2	44.2	45.9	40.5
平均値	53.7	56.4	56.8	58.5	57.4

②器械備品減価償却率(%)

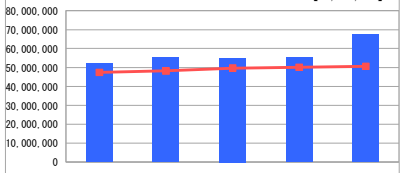
【70.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	75.1	75.9	74.7	70.9	71.3
平均値	69.3	71.1	69.8	69.7	68.8

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,963,977】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	52,196,513	55,455,957	55,030,298	55,479,854	67,415,898
平均値	47,442,477	48,164,556	49,637,382	50,098,024	50,586,262

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

Ⅰ 地域において担っている役割

中央病院は県下の基幹病院として、また徳島市を中心とする地域の中核病院として、県民医療の最後の砦となり、安心して暮らせる医療を提供するため、医療の質や透明性を向上させながら効率性を確保し、公共性と経済性を両立させながら、患者の視点に立った医療サービスの提供等に努めているところであり、一般の病院では実施困難な高度・特殊医療や政策的医療、医療従事者の研修等の人材育成などの役割も担っております。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医業収支比率、③修正医業収支比率、⑤入院患者収益、⑥外来患者収益

・経常収支比率は令和元年度まで黒字を記録し、全国平均よりも高い数値を記録しておりましたが、令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により診療収益が減少し、赤字（経常損失）を含めた純損益では黒字！となっており、医業収支比率、修正医業収支比率についても令和元年度と比べると悪化しております。

※病院利用率
新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保の影響により、令和2年度から令和4年度は利用率が低下しております。

※入院患者1人1日当たり収益、※外来患者1人1日当たり収益
高度急性期病院として重症度の高い患者の治療を進めてきた結果、全国平均より高い数値で推移しております。

③職員給与費対医業収益比率
新型コロナウイルス感染症の影響による診療収益の減少と新潟（25年度）の運用に向けた職員採用の影響により、令和2年度、令和4年度は全国平均より高い数値となっております。

④材料費対医業収益比率
他病院との共同交渉の実施などの取組によって材料費の低減を図っておりますが、高度医療実施の影響もあり、全国平均よりやや高い数値で推移しております。

⑨累積欠損金比率
平成27年度から新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度までは経営収支で黒字を計上しており、令和元年度には累積欠損金が解消しております。また、令和2年度から令和4年度も純損益黒字を含めた純損益では黒字であり、令和4年度実績値でも累積欠損金はございません。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
　平成24年度に改築を行っているため、全国平均より低い数値で推移しております。

②器械備品減価償却率
　平成24年度の改築にあわせて器械備品の更新を行い、平成26年度までは全国平均より低い数値となっておりましたが、減価償却が進み、平成27年度以降は全国平均より高い数値となっております。

③1床当たり有形固定資産
　平成24年度に改築と器械備品の更新を行い、高度医療を実施してきたことから、全国平均より高い数値で推移しております。

全体総括

　中央病院は、令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で診療収益が減少しましたが、病床確保料を含めた純損益では黒字を記録しております。また、令和元年度までは診療収益が過去最高を更新し続けていたという状況であり、安定した経営が行われております。

　今後の経営にあたりましては、引き続き高度急性期病院として診療収益の確保を図りながら、後発医薬品の使用拡大や医療器械、医薬品、診療材料の共同購入等を推進して経費削減に努めるとともに、施設、医療器械の整備につきましても、投資効果を十分に検討したうえで戦略的に整備を行うことで、よりいっそう経営の効率化を図ってまいります。